

## 地産地消と食品ロス削減の推進

～ 食べ物を大切にしましょう ～

千葉農業事務所企画振興課

令和4年1月11日 発

12月は、千葉地域（千葉市、習志野市、市原市及び八千代市）の主力農作物であるダイコンやニンジンといった秋冬野菜が豊富に出回る月です。

そこで、千葉農業事務所は地産地消を推進するため、12月26日（日）に千葉市蘇我コミュニティセンター（千葉市中央区）で開催された料理教室の参加者に対して、千葉市産のお米「粒すけ」と市原市産の鶏卵を紹介しました。

「手綱寿司」を作る教室だったため、粒すけは寿司にも合うことと、自宅に帰ってから、本日配布した粒すけを使って、寿司を作っていただけるようお願いしました。

一方、日本では「食品ロス」（食べられるのに捨てられている食品）が、年間約570万トン発生しており、そのうち約半分が家庭から発生していることを説明し、その削減方法について紹介しました。

参加者の皆さんは熱心に聞いてくださいました。

